

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0204	政策名	日常生活の安全確保	施策主管課	市民生活総合相談センター	課長名	畠山 夕子			
政策の目指す姿	安全・安心な日常生活を送っています									
施策No	03	施策名	交通安全の推進	関係課名						
施策の目指す姿	交通事故が少なくなっています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故(人身)件数全体の50%前後は高齢者が関係しており、高齢者の事故が多いと言えます。 高齢者等の道路横断中の交通事故がなくなる状況にあります。 子どもを交通事故から守ることが求められています。 働き方の多様化などにより交通指導員を新たに務める人が少なくなっています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故をなくすため、高齢者の交通安全対策を講じることが求められています。 子どもを交通事故から守るため、交通ルールの理解と交通マナーの習慣付けを図る必要があります。 運転者の交通安全意識と道路横断者の交通マナーの向上を図る必要があります。 交通指導員の負担を軽減し、新たな担い手の確保が必要です。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園・小学生児童の歩行時、自転車の運転、また高齢者の自動車運転等において、体験型の交通安全教室などを行い、より効果的な指導の充実を図る。 関係機関等と連携し、季節ごとの交通安全運動を取り組む。 交通指導員養成講座を開催し、交通指導員の確保を継続して図る。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 各年代に応じた歩行時、自転車運転時の注意点に留意した交通安全教室を実施。特に高齢者の方へは、体験型機材を活用した交通安全教室を行った。 交通安全協会、交通安全母の会等と連携した「ライトの早め点灯パトロール隊街頭活動」「一服一休運動」などの季節ごとの啓発活動を行った。 交通指導員養成講座を2月に行ったが、令和3年度の新規加入とはならなかった。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1)交通安全意識の啓発</p> <p>交通指導員等による街頭啓発活動、子ども、高齢者等を対象とした交通安全教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校時の街頭指導、各年代に応じた交通安全教室を実施 高齢者世帯への訪問活動などによる交通安全啓発活動の実施 交通安全母の会等と連携した訪問活動(啓発物品等の配布) 高齢者の運転免許返納者への支援 高齢者運転免許返納支援事業の継続実施 交通安全対策協議会や関係機関等と連携した交通安全運動の実施 交通安全協会等と連携し啓発活動を実施 交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加促進 交通事故防止と運転者の交通ルール遵守の習慣づけを目的とし実施 交通安全推進モデル地区指定による交通安全の推進 4地区(花西、花南、新堀、浮田)を指定 交通指導員養成講座の実施 令和3年2月に開催 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
交通安全コンクール「チャレンジ100」参加者数	交通安全推進活動への市民参加状況を示す指標	出典：花巻市交通安全対策協議会統計資料 交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加者数を計測する。	人	目標値				2,650.00	2,650.00	2,650.00
				実績値				2,659.00		
交通事故(人身)件数(暦年)	交通事故の発生状況を示す指標	出典：花巻警察署統計資料(暦年)	件	目標値				168.00	165.00	162.00
				実績値				150.00		
高齢ドライバー事故(人身)率(暦年)	高齢者が当事者となった交通事故の発生状況を示す指標	出典：岩手県警察本部(交通事故発生状況)	%	目標値				29.00	28.00	27.00
				実績値				28.00		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>交通安全コンクール参加者数・・・【達成度a】 早い段階から市ホームページなどで周知を図ったほか、花巻市交通安全対策協議会構成員等に対しては直接依頼を行った。 交通事故（人身）件数（暦年）・・・【達成度a】 継続した交通安全啓発活動等により、歩行者、ドライバーの交通ルール遵守の習慣づけが図られた。 高齢ドライバー事故（人身）率（暦年）・・・【達成度a】 運転に不安を感じる高齢者の免許返納支援の浸透により、運転免許証の自主返納者数の増加によるものと考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>（交通安全推進事業） ・交通指導車により事故発生場所などを巡回し、効果的な広報活動を行う。 ・交通安全ポスターコンクール、交通安全川柳の募集などを行い、幅広い年代の交通安全意識の向上を図る。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・全事故のうち高齢者が第1当事者となった割合は、平成30年50%、令和元年47.1%、令和2年45.3%と減少傾向にあるが依然として高い状況にあり、継続した対策が必要である。 ・幼児、小中学生の交通事故件数は、平成30年は11件、令和元年9件、令和2年9件と横ばい状態であり、交通ルールの周知徹底が必要である。 ・交通指導員は定員89名であるが、令和2年度末は67名と減少が続いており対策が必要である。</p>
今後の方向性
<p>・高齢者の交通事故対策として体験型の交通安全教室の開催、また、高齢者免許返納支援事業を継続して行う。 ・子どもの交通事故をなくすため、各年齢に合わせた交通安全教室を行う。 ・交通指導員養成講座を開催し、交通指導員の確保を図る。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	交通安全推進事業費	市民相談	一致	直結	C
	交通指導員による街頭指導の実施(交通指導員67名 街頭指導等5,945回 広報活動300回) 交通安全教室の実施(回数177回 参加者11,033人)				
			A		
020	高齢者運転免許返納支援事業費	市民相談	一致	直結	B
	高齢者の事故防止のため、自主的に運転免許証を返納した方にバス及びタクシーの利用料金の一部を助成する。 (運転免許証の自主返納者数(暦年)427人、事業利用者数323人)				
			A		